(Partial Translation)
Our Ref: OP-C4319-PC-US

Prior Art Reference

Japanese Patent Laid-Open Publication No. 1-312978

Partial Translation: Claim 1 and the description under the subtitle of "Problems to be solved by the invention" in the detailed description of the invention

Claim 1

Food for drinking or an additive comprising at least: a powder of asitaba (Angelica keiskei); and an extract of aloe vera.

"Problems to be solved by the invention"

An object of the present invention is to provide a very useful health-food which is capable of providing a medicinal effect of aloe, and further, highly rich in nutrients, with good taste and flavor, and highly accomplished as a food product solving the defects of conventional food products containing aloe, and still further, can be served for drinking on its own, and can be used as an additive to other food products.

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

01-312978

(43) Date of publication of application: 18.12.1989

(51)Int.Cl.

4.

A23L 1/212 A23L 1/03 A23L 1/30 A23L 2/00

(21)Application number : 63-144945

(71)Applicant : KOBAYASHI SHIRO

(22)Date of filing:

13.06.1988

(72)Inventor: KOBAYASHI SHIRO

(54) FOOD FOR DRINKING OR FOR ADDITION

(57)Abstract:

PURPOSE: To raise medicinal effects of aloe and to improve taste, fragrance and nutritive value by adding powder of Angelica keiskei Koidz and essence of aloe to a food for drinking or for addition.

CONSTITUTION: Powder of Angelica keiskei Koidz and essence of aloe diluted with twice as much as distilled water are optionally mixed with powder of root of sea tangle, honey, etc.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

⑩公開特許公報(A) 平1-312978

⑤Int.Cl.⁴		識別記号	庁内整理番号	43公開	图 平成1年(19	89)12月18日
A 23 L	1/212 1/03 1/30 2/00		A-8828-4B 6926-4B B-8114-4B F-6926-4B審査請求			
				未請求	請求項の数 2	(全3頁)

劉発明の名称 飲料用又は添加用食品

②特 頤 昭63-144945

20出 願 昭63(1988)6月13日

②発 明 者 小 林 士 郎 東京都目黒区目黒本町2丁目2番10号 東急ドエル清水 201号

①出 願 人 小 林 士 郎 東京都目黒区目黒本町2丁目2番10号 東急ドエル清水 201号

個代 理 人 弁理士 杉山 泰三

明 細 書

特許請求の範囲

- 1. 明日葉の粉末と、アロエのエキを少なくとも
 含有して成る飲料用又は添加用食品。
- 2. 請求項1記載の飲料用又は添加用食品にかいて、さらに根昆布の粉末と蜂蜜を含有して成る 飲料用又は添加用食品。

発明の詳細な説明

本発明は、そのまま飲料として摂収することもでき、又は他の食品に添加して利用することもできる食品に関する。

(従来の技術)

アロエは楽効を有する植物として知られば月 剤や設下剤等の医薬品に利用されているが、近 時、このアロエを含有せしめた健康食品も各種 提供されるようになつた。しかしながらアロエ は苦味があり、また栄養も不足するという食品 ととしての欠点もあり、この欠点を補り物質の 関合が種々研究されている。

(発明が解決しよりとする課題)

本発明は、アロエの楽効を得られると共にそれに加えて栄養価も極めて高く、また味や香りも良くて、従来のアロエ含有食品の欠点を解消して食品としての完成度が高く、しかも、そのまま飲むことができるし、また他の食品に添加して使用することもできる極めて有用な健康食品の提供を目的とする。

(課題を辨決するための手段)

尚、明日策(あしたは)は七り科の大形多年 草で、わが国の温限な海浜部に生育し、葉と茎 が食用として供され、野菜としても一部地方(八 文島等)で栽培されているものである。また、 アロエはユリ科のアロエ脳の総称であり、多年 生の多肉植物である。

明日類はその類及び根を使用し、よく水洗いしてから乾燥させく根の場合は水洗後スライスしてから乾燥させる)、その後に粉末状にしたものを適宜な削合で調合して使用するとよい。また、アロエのエキスは、アロエの類肉を水洗

いしたのち、トグの部分を除去して、ジューサー等により液汁を抑出し、この液汁から抽出したエキスを蒸留水により略 2 倍程度に和収したものを使用可能である。

また明日類やアロエの成分を補強して栄養価をより高めたり味を改良するために根昆布の粉末や蜂蜜等をさらに含有させてもよい。

上記の各種材料は混合してからよく練り合わせて、洗動体の状態で瓶詰にしたり、固化して緩利状にしたり、又は乾燥させた後に粉末状にして提供する。

(実施例)

本発明の一実施例は以下の材料を混合してよく繰り合わせた後に上配のごとく遊動体のまま流詣したり、錠剤状にしたり、又は粉末状にし

て提供するものである。

明日	※の楽の粉末		8	O	0	g
明日	紫の根の粉末		2	0	0	g
棋段	,布の粉末		2	0	0	g
कि	*		3	0	0	g
-7 n	ェのエキス	1	5	0	o	ÇC

本発明の飲料用又は添加用食品は、例えばそのままスプーンですくつて飲んだり、お茶がわりにお協に陪かして飲んだり、牛乳や焼酎等に添加して飲んだり、又はお茶賞、味噌汁、炒めるの等に入れて料理用の添加物として使用するなど用途は自由である。

(作用及び効果)

明日類は非常に強壮で発育が選い植物であり

 が一段と高まり味もより向上するものである。